

- ◇弘前城雪燈籠まつり……表面
- ◇スーパーマーケット・トレードショー視察研修 裏面
- ◇今後の催事予定 ……裏面
- ◇BUYひろさき運動……裏面

# さくらだより

発行者

〒036-8356 青森県弘前市下白銀町2-1

公益社団法人弘前市物産協会

TEL 0172(33)6963 FAX0172(37)6388

<http://www.hirosaki-bussan.or.jp>



昭和52年(1977)にスタートした弘前城雪燈籠まつり。

今年で38回目を迎え、長い津軽の冬を楽しむ為、また冬季観光の活性化、通年観光の定着を目指し市民手作りで行われております。

まつり期間中は雪化粧した天守閣や老松、2,600本の桜の木々がライトアップされ、弘前公園内は幻想的な雰囲気へと様変わり。桜の名所弘前城の冬もまた格別です。

公園内には市民や団体が制作した大小様々な雪燈籠が約150基、西の郭周辺には約300基のミニかまくらが連なり、夜になるとそれらに火が灯り、なんともいえない詩情豊かな空間へと変わり、見る人の目を楽しませていました。

今年は旧第八師団長官舎を模った大雪像と光の共演「プロジェクションマッピング」が初めて行われました。真っ白な大雪像に津軽を代表する津軽塗やこぎん刺しの模様が映し出されると、多くの観客から歓声と拍手が沸上がっていました。

期間中全体の人出は約20万人。プロジェクションマッピングが人気で、4日間とも数百人の観客が集まり、まつり2日目の9日(日)は花火の打ち上げなどもあり、期間中最高の8万人の来場を記録しました。

しかし、首都圏の大雪に伴う交通の乱れが影響し、県外からの観光客のキャンセルが相次ぎ、前年実績26万人に比べて6万人減の76.9%の結果となりました。雪を楽しむまつりではありますが、首都圏へ降った雪は喜べず、まつり主催者側としては少し残念な結果となりました。しかし、来月には弘前さくらまつりが始まります。消費税率変更などで頭を悩ませ忙しい毎日を過ごしている事と思いますが、会員の皆さま、そして弘前が大いに盛り上がる事を期待し準備を進めて参りたいと思います。ご協力の程宜しくお願い致します。

## まつり期間中 さくらはうす売上額 前年対比

2月8日(土)	118.3%
2月9日(日)	41.9%
2月10日(月)	45.5%
2月11日(火・祝)	58.8%
※まつり期間全体で、対前年の54.0%	

## まつり期間中 物産館売上額 前年対比

2月8日(土)	480.0%
2月9日(日)	104.2%
2月10日(月)	40.9%
2月11日(火・祝)	143.4%
※まつり期間全体で、対前年の101.1%	



物産館前の様子



弘前公園内の様子



弘前公園内の様子